

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護援助論 I	NSP22_009	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	講義終了後 又は 水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	在宅における看護を実施するために必要な知識と技術・態度を学習する。具体的には、訪問に際して必要な知識と技術、在宅における日常生活支援と医療処置管理に関する知識と技術等について学ぶ。授業は原則として遠隔(Teams)とするが、初回と最終回は対面とする。授業中のチャットやリアクションペーパーにて教員への質疑を行い、教員からの助言を受け、在宅看護に関する理解を深めていく。				
学習上の助言	地域在宅における看護の役割は何か、授業内で提示する在宅療養者の生活をイメージし、療養者がその人らしく暮らせるような看護師としてのかかわり方を積極的に考え、学んでほしい。				
教科書	ナツク・グラフィック在宅看護論① 地域療養を支えるケア(第6版)/著:臺有桂 他/メヂック出版/2019				
参考書	ナツク・グラフィック在宅看護論② 在宅療養を支える技術(第1版)/著:臺有桂 他/メヂック出版/2018				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅看護に興味を持ち、主体的に学習できる		NS(6)		
②	在宅看護が実施される場をイメージし療養者と家族の生活を把握する方法を説明できる		NS(1)、(2)、(3)		
③	訪問する際の準備や心構え、マナーを理解し実演できる		NS(1)、(2)、(3)		
④	在宅療養者と家族への日常生活援助のアセスメントができ援助方法を説明できる		NS(1)~(5)		
⑤	在宅療養における看護師の役割を説明できる		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	・在宅療養ってどうなっている？ ・訪問する際のマナーや心構えを学習する	講義・演習 対面授業	復習：ワークの振り返りと学びをまとめる	1	
2					
3	・訪問看護の制度やしくみを学習する ・在宅看護における安全と健康危機管理を学ぶ	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
4				1	
5	・在宅での日常生活支援：栄養・食事	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
6				1	
7	・在宅での日常生活支援：排泄	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
8				1	
9	・在宅での日常生活支援：清潔	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
10				1	
11	・在宅での日常生活支援：移動・活動 ・在宅医療処置における看護①	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
12				1	
13	・在宅医療処置における看護②	同時双方向型授業	予習：事例に関連した事前課題 復習：学びをまとめる	1	
14				1	
15	まとめ	講義・演習 対面授業	復習：最終レポートを作成する	2	
試	レポート試験 達成度評価・評価ポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	20	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	5	5	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	5	10
		0	10	0	0	0	10
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①	✓	予習では各授業に必要な知識や認識を整理し授業に臨む。また、復習では授業からの学びをまとめる。これらの予習→授業→復習を通して、在宅看護技術の特徴を考察し、最終レポートを提出する。毎回の予習・復習課題及び最終レポートにて知識や思考力の評価を行う。	各授業にて提出された課題に対して、情報や知識の不足があれば、適宜、補足説明を行う			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①	✓	対面授業では、短時間の演習と成果発表を行う。また、遠隔授業でも発言を求めするなど学生参加を促し、課題に取り組んだ成果を発表する機会を持つ。	演習・成果発表において講評を行う			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①	✓	在宅看護学に興味を持ち、積極的・主体的に授業に取り組む姿勢を評価する。学生は、毎回の課題や授業で使用した資料を整理していく。復習として教科書や資料を見直し学びをまとめる中で、学習への意欲や自己の課題を明らかにし指定用紙にて提出する。	コメントを記入し返却する			
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	全日程の出席を前提とする。理由のない欠席は授業への取組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する。	欠席が続く場合は指導を行う			
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
担当教員：◎山崎 洋子、渡邊 美樹							
1回・15回は対面授業を行います。大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守してください。また、3~14回の授業はTeamsを使った同時双方向型授業を行います。その際、通信容量が無制限のWi-fi環境を推進します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性があります。							
この科目は、担当教員が保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学病院における医療連携室での退院調整や療養生活相談等の経験を元にして、病院から地域への療養移行支援から在宅療養支援の実践事例を交えて授業を進めます。							